

看護学科

1 年

科目名: 看護技術論 I				担当教員 氏名: 高田 亮子	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: ICUの実務経験から、患者の身体サインをどのようにとらえるか。見えないものを可視化できる技術として教授する。					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
看護実践の手段として活用される看護技術について必要な基本的知識・技術・態度について学習する。また看護実践を展開するための方法として人間関係を成立・発展させる技術について理解を深め、対象のヘルスニーズを判断するために必要な基礎的知識や技術を習得する。				コミュニケーション技術 ヘルスアセスメント フィジカルアセスメント	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 8	
A 知識・理解力	対象のヘルスニーズを判断するために必要な基礎的知識や技術を習得できる。看護の対象である人々の安全、安楽、自立、個別性を支えるために正確な知識、技術の習得の必要性がわかる。				
B 専門的技術	バイタルサインの測定技術を習得できる。				
D 問題解決力	科学的・分析的思考過程を理解することができる。				
E 自己管理能力	演習やグループワークを通して、自己の役割を理解し、リーダーシップおよびメンバーシップのあり方を形成する。				
F チームワーク・リーダーシップ	人間関係を成立・発展させる技術として、コミュニケーション技術の実践への活用方法が理解できる。				
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 50 %	レポート: 20 %	発表: %	演習: 20 %	その他: 10 %	
特記事項: 上記の「その他:10%」については、授業での参加姿勢(出席状況)や取り組み姿勢を評価する。					
アクティブラーニング要素: 課題解決学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 初回の講義の際に伝える。適宜、レポートによる課題を提示する。テーマや提出日は講義内に伝える。グループワーク、課題学習、演習(実技)を行う。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 提出された課題は確認し不足等の指摘を行なったうえで点数化し、評価に含める。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容		学習に必要な時間(分)
①【高田】オリエンテーション(看護技術論 I の学修内容)、看護技術の考え方			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
②【高田】コミュニケーション 面接の実際(グループでインタビュアーを体験)、カウンセリング技法の実際			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
③【高田】ヘルスアセスメント 健康観察、アセスメントの実際(2人グループでインタビュー)			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
④【高田】ヘルスアセスメント 課題:バイタルサイン測定の手順 テキストP87~104			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑤【高田】バイタルサイン			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑥【高田】バイタルサイン・計測テキスト(P107~122)			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑦【高田】ヘルスアセスメント(実技) バイタルサインの測定・計測			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑦【高田】ヘルスアセスメント(実技) バイタルサインの測定・計測			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑨【高田】ヘルスアセスメント(実技) バイタルサインの測定 課題35人の血圧測定			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑨【高田】ヘルスアセスメント(実技) バイタルサインの測定 課題35人の血圧測定			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑪【高田】フィジカルアセスメント:呼吸器・循環(実技) 聴診・打診の実際 演習課題の提出			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑪【高田】フィジカルアセスメント:呼吸器・循環(実技) 聴診・打診の実際 演習課題の提出			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑬【高田】フィジカルアセスメント:消化器・運動器(実技) 聴診・打診の実際 演習課題の提出			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑬【高田】フィジカルアセスメント:消化器・運動器(実技) 聴診・打診の実際 演習課題の提出			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑮【高田】フィジカルアセスメント:事例演習(実技)・看護技術論における知識の確認とまとめ			テキスト・ナースングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
使用テキスト:①茂野香おる:系統看護学講座:専門分野 I 基礎看護学 (3)基礎看護技術 I、医学書院 ISBN978-4-260-03564-4-C3347			その他参考文献など:三上れつ,小松万喜子編:演習・実習に役立つ基礎看護技術一根拠に基づいた実践をめざして、ニューヴェルヒロカワ		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):この授業は、看護実践の基盤となる基本知識と技術を身につけるための授業科目です。また、対象把握のための身体審査の方法であり、科学的なアセスメント展開を行えるために求められる技術です。確実な技術を身につけられるよう主体的な学習姿勢をもって受講してください。					